

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成22年1月21日(木曜)午後7時0分～午後8時40分		
会場	中央地区公民館	出席者数	43人 (男34・女9)
地域座談会の内容(市長講話・質疑応答の内容等)			
<p>開会の後、次第に従って進められ、市長講話、質疑応答の内容は、次のとおりです。</p> <p>市長から、師走の忙しい中、地域座談会出席のお礼、今年度44回の座談会を計画している。分館単位にすると60か所もあるので、44か所にまとめて開催させていただいています。ご意見、ご提案、ご要望をお聞かせください。</p> <p>7時半頃まで、市政の課題や状況をほうこくさせていただきます。</p> <p>18日から波乱含みの国会が開会されました。補正予算は早めにとっているのですが、どうなるのか。去年から1年、景気が回復しない。</p> <p>高卒の内定率が前年95%が75%、12月31日現在寒河江工業高校では、いろいろ苦労したが、進学に進路変更もあって、就職希望者のほぼ全員が決まった。寒河江高校は進学校ですが、農業校舎の卒業生は、まだ若干名決まっていない状況です。機会をとらえて市内の企業に話をしているところです。就職できない状況は、たとえば市の臨時職員で短期間のつなぎなど、国の補正予算を活用して対応していきたい。一部の分野では回復してきたようであるが、全体はまだ景気が回復していない状態であります。</p> <p>将来の中長期的には、資料裏面の一番下をご覧ください。</p> <p>県の試算の人口予測で人口が減っていく。</p> <p>寒河江市、西村山、山形県の50年後との人口予測の比較、説明。</p> <p>平成21年は、県が118万人、4年で4万人の減少で1年あたり1万人もの減少となっている実績がある。65歳以上のお年寄りの人口はあまり変わらないが、働き盛りの若い人が減ってくるので、高齢者の割合が増えてくるのが高齢化社会と言われている状態です。</p> <p>少子化対策、経済的支援のみならず、子育てしやすい環境づくり、サポート体制づくり、企業の支援、地域の支援、育児休暇の取りやすい環境、男性が育児休暇取れるように企業の理解などが必要と思っている。</p> <p>お年寄り割合が多くなる。元気なお年寄りを多く、いつまでも元気であるためのサポート事業。ふれあいサロンが49か所行われて喜ばれている。一人暮</p>			

らしのお年寄りに地域などを含めてサポートしていきたい。一人暮らしのお年寄りの寝室に火災報知機の設置させていただいています。対象が500世帯程ですが設置した世帯もあり、300世帯ぐらいに設置しています。金谷地区で一人暮らしのお年寄りが亡くなって三日間も亡くなったのがわからなかったということがありました。こういうことは絶対あってはならないことと思っています。民生委員の方々も頑張ってもらっていますがそれだけでは手が廻らない状態で、地域で見守っていくのが大切、地域を含めたネットワークが必要と思っています。地域ネットワークやサポート体制を手始めにモデル的にしていきたい。試料の話、左は借金、右は貯金、

財政状況は平成15年に250億あった借金が資料のように減ってきた。

公債比率は18%が基準値で22年度に基準値以下の17%台になる。

新庄市は25%で財政健全化計画が必要になった。

財政調整基金は、いわゆる貯金、コツコツと地道に増やしていきます。

質疑応答

中央地区公民館の土地が市の土地で、毎年借地料を支払っている。20年度まで35万4千円だったのが21年度は31万円位になったのはなぜか。

今後もこのように減額なるのか。また、減免はできるのか。

公民館の整備事業費の補助があるようだが、新築、増築、改造、舗装などが対象になっているが、修理修繕等は対象にならないのか。

答：たぶんであるが、固定資産税の評価額が変わったので、借地料も変わったと思われる。借地料については、他の公民館で土地を購入しているところもあるので、バランスをとらなければならない。ここだけのはなしではない。

中央地区公民館も20年経っていて当初の借地料は60万円くらいであったし、20年間の借地料を考えると買ったほうが安いのではないか。

20年経過して修繕が多くなっているが、維持費が一世帯当たり4000円も負担していて値上げもできない状況です。外壁、屋根の塗装、去年の8月に、やっと実施したところで、畳の表替えなどなども必要なのだが、借地料の額がネックになってきている。何とかならないか。

答：借地料を減免して、修繕に廻すということですね。毎年は無理だが、何年かに一回は要望をとるということで検討します。

ほなみ団地からの道路の進行状況、これからの予定はどうなっているか。

答：24年完成を目指して予定通り進めている。まだ、道路ができていない。

スーパーの立地が具体的に決定していない。今年中に目途がたつ見込みです。丸菱食品・後藤商事のところからの道路も完成は来年ぐらいまでかかります。市の担当からこれからの計画を含めて説明させます。

ハートフルセンターでさわやか体操をしている。グループごと6名位、週に2回、2時間くらい、楽しくやっています。続けてやっていきたいといっていたところ、来年度も4月からできるということを聞いたのでお礼をいいます。ありがとうございます。

答：ありがとうございます。なにかあったら、何でも注文してください。

先ほどのほなみ団地からの道路ですが、24年から供用開始ということですが、本当に道路ができるのか。まだ、何の具体的な話もなく、一人暮らしで心細く心配で、胸をいためている。

答：間違いはありません。お約束します。国の予算の状況で時期が前後することはあるかもしれないが、道路は確実に通します。

ほなみ団地からの道路については、これまでも説明が具体的ではなく、はっきりしなくて、時期も延び延びなってきた。わかりやすいように親切に具体的な、買収の金額を含めた、説明が早く欲しい。

答：近々中にお伺いして、具体的に説明して、皆さんの今後の予定に資するような説明をしていくようにさせます。

この道路が完成すると、一つの町会がなくなるような状態である。その後の展望が見えてこないのだが、今後の展望の説明はどうか。

答：展望を提示するのも結構なのですが、地域の方が一緒になって考えていくのがたいせつではないか。行政も役割を担うが、地域の方がこのことをうまくこなして、知恵も出してまちづくりに参加して欲しいと思います。22年度に振興計画の見直しを行いますので、中心街の活性化もテーマなので、一緒に参画してご意見をいただきたいと思います。

市民浴場を毎日利用しているのだが、湯が熱い、46度もあって、水をうめると怒られる。1槽の湯船を2槽に増やして、42度くらいの子供でもはいれるように改善して欲しい。

答：ご利用ありがとうございます。去年100万人を突破した。1槽なので熱くなっていると思う、検討していきます。管理事業者に状況を聞いて検討していきます。

ふれあいサロンはどのようになっているのか。

答：分館の希望のあるところについて支援している。女性の参加が多いのだが男性の参加が少なく、男性が参加しにくい状況なので、男性が参加しやすいメニューなども考えていただいている。新たな取り組みは地域で考えていただきたい。

もう一つのサロンを作りたいという場合はどうするのか。

答：地域で検討して、担当に聞いてみて、いろんなメニュー考えられる。

中央地区公民館がいたんできている、いろいろ入れ替えの時期がきている、ハートフルセンターやフローラの施設使用料が無料になっている影響が大きくあり、利用者が少なくなってきたので、公民館の方にも補助して欲しい。無料にしている当然、その分の金はかかっていると思います。そのために利用者が少なくなると収入が半減してきている。その辺の基準はどうなっているのか。何とか考えていただきたい。

答：ここの公民館だけではなく、ひがし公民館などでもあった話で、どうして無料で貸すのかという話。ここだけを考えると支援は難しい。何らかの手当てや対策を講じていきたいと思います。

資料と説明、心配はあるが敬意を表します。

老人クラブ中心で50名から60名がサロンで、絵や俳句の活動をしています。健康講座や天地人など、固定化されないように活動していきます。

新政権の臨時交付の内容はどうか。

五次振興計画の見直しはどのような理念とビジョンなのか、お聞きしたい。

答：期待しています。地方交付税は地方にとって大きな財源です。ひもつきでない財源です。が、確証はまだありません。補正については雇用の確保、地域のための事業、今年は街路樹の剪定をしている、来年は公園の樹木の剪定をしていきたい、一つの例です。

振興計画の見直しは、10年の半分の5年で、状況を踏まえて見直しする。元気な寒河江をつくるため。市民が参画できる、市民が主体的にできるまちづくり、地域ごとに計画がつくられる。田代と幸生は地域担当制としていて、月一回くらい集まって話し合い、地域のビジョンをつくって、地域の活性化につなげていきたい。

県には合併する前、44市町村があった。他の市町村は、100円バスとか福祉バスとかあるが、寒河江にはない。何とかならないか。

学校給食の実施決まってありがとうございます。市議会議員が前市長のとき

は皆反対で、今度の市長になったら皆賛成で、議員なんかいらぬのではな
いか。少なくともはどうなのか。

答：町のまんなかでも、この意見がでるのかと思っている。他の地区、まあ郡
部では意見がでています。バスなどのいろいろな方法があります。金はない
が、全くないわけではないので、検討していきます。意向調査もします。2
月にはアンケートの調査も予定しています。市議会については前回、減員し
たところです。議会は自ら考えていただくと思います。この地域座談会の意
見は伝えます。

安全、安心について、耐震についてですが、市役所庁舎はどうなのか。

答：黒川紀章の設計で、耐震診断をした結果、補強が必要となっています。こ
れからも庁舎を使っていくのか、新たなものにしていくのか、早めにどうし
ていくのかも含めて、新たなものを求めていくか、借りるのか、補強するの
か、その時期にきているので、皆さんのご意見を聞きながら検討していきま
す。

市役所が移転してしまうと、また、町会の核がなくなってくる。

答：旧県庁、50年に移転している。旧町はさびれてきている。

市長さんは今日で2年目に入った。去年は歌会始めて喜ばしいことがあり、
今年は、暮のテレビで慈恩寺が出て、佐藤繊維がオバマ夫人の何とかという
話題があったが、市長の思いはどうか。

答：座談会は暮から、市の中心部になってきて、元気をいただいています。郡
部の座談会の意見は、道路や側溝などが多くありました。中心部は寒河江を
アピールする、市の資源も人材もある、全国に発信するなどの意見をいただ
いている。皆さんから、アイデア、情報などいただければありがたい。

よろしいですか、何もなければ終了とさせていただきます。